

第二十七回帝國議會 院 工場法案委員會會議錄(速記)第六回

會議

明治四十四年二月二十八日午後二時十分開議

出席委員左ノ如シ

- 大岡 育造君 福井 準造君 田邊 熊一君
- 小川 平吉君 三浦 盛徳君 伊東 要藏君
- 岡田 泰藏君 富島 暢夫君 古賀 庸藏君
- 熊本 壽八君 森 正君 根津 嘉一郎君
- 小寺 謙吉君 荒川 五郎君 阪本 彌一郎君
- 花井 卓藏君 細野 次郎君

出席國務大臣 左ノ如シ

農商務大臣 男爵大浦 兼武君

出席政府委員 左ノ如シ
農商務次官 押川 則吉君 農商務省工務局長 岡 實君
委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者 左ノ如シ
農商務技師 野田 忠廣君

本日ノ會議ニ上リタル議案 左ノ如シ

工場法案(政府提出)

○委員長(大岡育造君) 是ヨリ工場法案委員會ヲ繼續致シマス

○法學博士花井卓藏君 本員ハ殆ド全部缺席ヲ致シマシテ、御尋スル機會ヲ逸シテ居ルノデゴザイマス、ケレドモ速記ニ依リマシテ大體承ラヌト欲スルコロハ之ヲ理解スルコトガ出來タノデアリマスガ、極メテ簡單ニ數點御説明ヲ請ヒタイト思フノデアリマス、第一ニ御尋致スノハ根本問題デアリマス、理窟ハ總テ私ハ申シマセヌ、根本問題トシテ本法ハ工場主本位ニ於テ立法セラレタモノデアルカ、或ハ工業ニ從事スルコロノ職工若クハ徒弟ヲ本位トシテ立法セラレタモノデアルカ、換言スレバ工場主保護ノ法律デアルカ、労働者保護ノ法律デアルカ、之ヲ一ツ承リタイ、本員ハ案ノ全文ヲ讀ミマシテ、諸國ノ工場法ニ比シテ工場主ヲ保護スルコト、頗ル寛ニ過ギ、労働者ヲ待ツコト頗ル酷ニ失シタル案ナリト云フ感ヲ生ズル故ニ之ヲ御尋スルノデアリマス

○政府委員(岡實君) 工場法ノ制定ハ、御承知ノ先ヅ直接ニ職工ノ保護ヲ致スト云フコトガ目的デアリマスガ、職工ヲ保護スル結果ハ即チ工業主ヲ保護スルコトニナル、今花井君ノ御質問ハ、職工ヲ保護スルコト至ッテ薄キニ過ル、随ッテ工場主ヲ本位トシテ本案ガ出來テ居ルモノデアルカノ如キ疑ガアルト云フ御質問デアッタト思ヒマスガ、本案制定ニ當ッテハ職工保護ト云フ目的ヲ達成センガためニ、多クノ規定ヲ設ケタノデゴザイマス、併ナガラ現在我國ノ工業場ハ何等操業上ノ制限ナクシテ、自由ニ行ハレ居ルノデアリマスカラ、最初カラ花井君ノ唯今御尋ニナツタ 歐洲各國ニ行ハレテ居ルガ如キ詳密且ツ嚴重ナル規定ヲ設ケテ操業上ノ制限ヲ爲シ、工業ノ利益ヲ害スルコトノ渺ナカラヌ

モノガアルコトヲ願慮致シマシテ、先ヅ第一期ノ工場法トシテハ工業上ノ現狀ニ大波動ヲ與ヘザランコトヲ考ヘマシタタメニ、他ノ立法ニ比シテハ聊カ手ヌルイ感ノアルコトハ政府モ認メテ居ルノデアリマス

○法學博士花井卓藏君 唯今ノハ立法ノ本位ニ關スル質問デアッタノデアリマスガ、第二ハ立法ノ理由並ニ體裁ニ付テ御尋シヤウト思ヒマス、此第二條第一項但書及ビ第三條第二項デアリマスガ、此條文ノ事實問題トシテハ速記ニ依ッテ諸君ヨリ爭ハレテ居ル點ガアルヤデアリマス、本員ノ問ハント欲スルコロハ立法ノ理由並ニ體裁デアリマス、凡ソ必要ナキ立法ハ之ヲ爲スヲ要セザルコトハ論ヲ待タヌノデアリマス、法律ハ時勢ノ必要上ニ是レナクンバ以テ工場主ノ保護、労働者ノ保護ヲ全フスルコト能ハズトスル必要ナル理由ヨリ編立テラレ、モノデアルト云フコトハ論ヲ俟ツマイト思ヒマス、又立法ノ體裁ノ上カラ見マシテ、十年二十年ノ後ニ於テ行フベキ法律ヲ、豫備ノ二十年二十年前ニ制定セシガ如キ實例アルヲ本員ハ知ルコトヲ得ヌノデアアル、立法ノ原則トシテ時ノ必要ハ法律ヲ産ムノデアアル、事ノ必要、物ノ必要ハ法律ヲ産ムノデアアル、時ノ必要ナク、物ノ必要ナク、人ノ必要ナキニ、豫メ十年ノ後十五年ノ後ヲ豫想シテ立法ヲスル如キハ、立法ノ理由ト云ヘル原則ノ上カラ考ヘテモ、立法ノ體裁ト云フ上カラ考ヘテ見マシテモ、其當ヲ得ザルモノト信ズルノデアリマス、第二條ノ第一項ノ但書ニゴザイマスル規定ハ、要スルニ十二歳未満ノ者ヲシテ工場ニ就業セシムルコトヲ得ズト云フ原則ヲ認メラレタ所ニ以テ、此ノ如キ者ヲシテ工場ニ業務ヲ執ラシムルト云フコトハ、宜クナイト云フコトカラ出タモノニ違ヒアルマイト思フノデアアル、宜クナイト云フ理由ノ下ニ制限スル立法ノ必要ヲ認メラレタモノデアラウト私ハ考ヘルノデアアル、然ルニ本法施行ノ際ニ於テハ差支ハナイ、斯ウ云フ規定セラレテ居ル、本法ハ制定セラレテ、制定セラ、ト同時ニ施行セラル、ソガ本法ノ目的ニ違ヒナイ、左ニ十二歳未満ノ幼者ヲ保護スベキ規定ヲ立法ヲシテ、右ニ施行當時ニ於テハ其必要ヲ認メズト云フガ如キ矛盾ノ規定ヲナス理由ハアルマイト思フ、政府モ亦吾々ノ見ルトコロト異ナルコトハナカラウト思フ、併ナガラ之カ所謂工場主本位ノ法律ア、労働者保護ノ原則ヲ措イテ、工場主保護ト云フコトガ茲ニ謳ハレテ居ルコト、思フ、本會ニ於テ如何ナル決議ニナルカハ知リマセヌケレドモ、本來工場法ト云フモノハ、労働者本位ヲ規定スベキガ當然デアッテ、富豪若クハ工場主ノ聲ニ聽テ憐ムベキ労働者保護ノ規定ヲ直チニ無視スルコト云フコトハ、甚々其當ヲ得ヌモノデアルト思フ、本員ハ斷言スル、此ノ如キ立法例ハ諸國ノ工場法總體ニ於テ、第二期ノ場合ノミナラズ、第一期ノ場合ニ於テモナキモノト認メル者デアリマス、政府ハ富豪ニ媚ビ、工場主ニ媚ルガためニ、直チニ此原則ヲ改メラレタト思フノデアリマス、資本主ノためニハ立法モ労働者モ犠牲ニ供セラル、ト云フ御趣意デアリマスガ、第三條ノ第二ノ如キモノハ、實ニ立法ノ體裁論トシテ意味ヲ爲サザルモノト信ズルノデアリマス、業務ノ種類ニ依リテ、就業時間ノ延長ト云フモノヲ十五年間モ効力ヲ保タシムル規定デアルノデアリマス、時間ヲ制限セラレタト云フコトハ、労働者ヲ保護スルノ趣旨ニ外ナラヌト思フノデアリマス、然ルニ之

モ亦此法律カ行ハレテカラ十五年ノ後マデモ、二時間ノ延長ヲナシ得ルト云フコトヲ規定セラレテ居ル、換言スレバ今ヨリ十五年ノ後マデハ、時間ノ制限ハ十二時間ニアラスシテ十四時間ナリト立法セラレタト同様デアリマス、十四時間ヲ相當ト認メラル、ナラバ、十四時間ト規定セラル、ノガ宜カラウト思フ、人間ノ身體ト云フモノハ、其保タルベキ衛生、其他ノ關係ニ於テ十五年前ノ今日モ十五年後ノ將來モ異ナル譯ハアルマイト思フ、十五年間ハ十四時間ヲ宜イト認メラル、ナラバ、十四時ト規定ナススタラ宜カラウト思フ、併ナカラ十四時間ハ長キニ失スル、十二時間ヲ相當ト認メケレドモ、富豪權勢ノ聲ハ此立法ノ不體裁モ犠牲ニ供シテ、時間ト云フモノヲ自由ニ裁量サセテ、十五年間モ效力ヲ保タシムルト云フガ如キ法律ヲ制定サレタト云フコトハ、十五年前ノ今日ニ於テ必要ナキコトヲ認メラレタモノト論ズルモ不可ナカラウト本員ハ思フデアリマス、然レドモ十四時ノ規定ヲスルト云フコトハ、如何ニモ勞働者ノ保護ヲ緩慢ニ付スルガ如キ誇アルノ故ヲ以テ、第二條ト同様ニ、右二十二時間ヲ標準トシテ、左ニ工場主ニ於テ十四時間ヲ應用セシムル途ヲ御取リニナタト云フコトハ、如何ニモ不體裁ナコトデアリマス、況ヤ十五年ト云フ標準ハ如何ナル學問上ノ根據カラ出テ居ルカ、如何ナル實際上ノ根據カラ出テ居ルカト云フコトヲ伺ヒタイ、實際上ノ根據アリトスレバ、當業者——當業者ニ於テ唱導スルトコロノ聲ガ、此ノ如キ規定ヲ促サレタモノデアアルマイカト思フデアリマスガ、之モ一ツ伺ヒタイ、即チ理由ナキ立法體裁ヲ爲サザル立法ト云フコトニ付テ感ヲ起シマシタカラ、ヤハリ根本問題トシテ答辯ヲ得テ置キタイ

○政府委員(岡實君) 政府ガ工場法ヲ立ルニ當リテ、或ル例外ヲ多ク規定スルト云フコトガ此體裁美ヲ害スルコトハ、花井君ト全ク説ク同クシテ居リマス、出來得ベクンバ成ルベク例外ヲ止メテ、原則ヲ以テ貫クト云フコトハ努メテデアリマスガ、御承知ノ通り工業ノ種類ハ決シテ一ナラヌ、一ナラヌト云フヨリ寧ロ千態万狀トモ云フベキモノデアアル、此千態万狀ノ工業ガ又各地ノ在來ノ慣習或ハ業務上ノ持久ノ關係ヨリシテ、時トシテハ長ク働クモノモアリ、或ハ從來ノ慣行ニ依リテ短ク働ク者モアリ、長ク働ク者ニ對シテ一日時間ニ制限ヲ加ヘタナラバ、忽チ其工業ガ利益ナキモノニ歸著スルト云フコトモ少ナカラヌデアリマスガ、大體トシテハ常ニ政府ハ此工業ノ現狀ニ顧ミルコトヲ努メテ居リ、單ニ學理上或ハ法律論、或ハ體裁美ト云フコトハ貫徹シナイ、ソコ今花井君ノ第一ノ御質問ニ入ッテ御答辯致シマスガ、此第二條ニ於テ但書ヲ設ケタ、本法施行ノ際ニ現ニ就業シテ居ル十二歳以下ノ者ガ繼續シテ就業シテ差支ナイト云フ規定ノ理由如何、之ハ工場法ガ何時出ルト云フコトヲ豫期セズシテ、又何時實施セラル、ト云フコトヲ豫期セズシテ、始メヨリ工場主ハ十二歳以下ノ者ヲ雇ヒ、雇ハル、者モ自分ガ此工場ニ入ッテ以上ハ、其工場ヲ就業ヲ繼續シテ居ルモノト信ジテ入ッテモ、デアアル、デアアルカシテ既得權ト云フハ語弊ガアルカ知ラヌガ、併ナガラ既得ノ利益ト云ハナケレバナラヌ、法律ニ新タニ制限ヲ設クル際ニ際シテ、此人民ガ持テ居ル既得ノ利益ニ對シテ、或除外例ヲ設クルト云フコトハ、御承知ノ通り少ナカラヌコト、信ジテ居ル、即チ本文ノ如クニ又現在モ工場ニ於テハ其既得ノ利益ヲ保全スルト云フ利益ノ下ニ出來タモノト御承知ヲ願ヒタイ、ソレカラ斯カル立法例ガアルカト云フコトハ、アルト云フコトヲ御答致シマス、ソレカラ第三條ノ第二項ヘ持ッテ行ッテ、業務ノ種類ニ依リテ二時間以内延長ヲ許可スル

理由如何、十二時間ト定メタラソレデ宜カラウデヤナイカ、十四時間トシナケレバナラヌノナラバ、初メカラ十四時間ニスルガ宜イト云フコトガ花井君ノ御尋ノ御趣意デアッタヤウニ考ヘマスガ、是モ前申シマス通り工業ニハ或ハ有害瓦斯粉塵ノ中ニ働ク、吾マナラバ一時間モ堪エナイヤウナ所ニ働ク居ル場合モアル、又一方ニハ一向有害瓦斯ヲ生ズルモノナシ、粉塵ガアルモノナシ、吾マ業務ニ馴レナイ素人ト雖モ、相當長キ時間働ク差支ナイ工業モ澤山アリマスガ、本業中業務ノ種類ハ如何ナル業務ナリヤト云フ御尋デアルト致シマスレバ、例ヘバ是ハ生絲業ノ如キハ即チ此中ニ含ミマス、製絲ヲ業ハ格別ノ害ハナイ、又塵埃粉末有害瓦斯ハ少ナイ、又甚シク身體精神ヲ勞スルト云ツタ程ノ仕事デモナイノデゴザイマス、斯ウ云フヤウナ業務ノ種類ヲ見テ、一方ニハ十二時間働クノト、一方ニハ十四時間働クノト、先ツ大體ニ於テ勞働シテ害アリト見タ事柄ニ付テハ、特ニ立法ヲ設ケテ除外スルコトノ必要ナルコトヲ發見スルノデアリマス、併ナガラ十四時間働クト云フコトハ宜イコトカ、サウ云フ工業ト雖モ、凡ソ人間ハ十四時間ト云フ働キハ容易ナラヌモノデアアル、何時ニカ之ヲ止メルコトヲ豫期シナケレバナラヌモノデアアル、先ツ如何ナル種類ト雖モ、十二時間働クバ澤山デアルト云フコトハ、先ツ吾マノ原則トシテ見テ居リマス見解デアアルガタメニ一定ノ期間後ニハ之ヲ原則ニ引戻スコトヲ考ヘナケレバナラヌ何故ニ之ヲ十五年ト選ンダカト云フコトハ、是ハ屢々御質問モゴザイマシテ、御答辯致シタコトデアリマスガ、花井君モ御承知ノコト、存ジマス

○法學博士花井卓藏君 第三ニハ立法ノ材料ニ付テ御尋ラスルノデス、何故ニ勞働者ニ諮問ヲセラレヌデアリマスカ、生産調査會ナルモノガ設ケラレテ、上等民間者ハ意見ヲ徵セラレテ居ルニモ拘ラヌ、此立法ノ唯一ノ目的物タル勞働者ト云フ者ノ意見ヲ除外サレタデアアルカ、立法ノ材料トシテ必然問ハナケレバナラヌモノヲ問ハレナカッタ理由如何、政府ノ眼中ニハ勞働者ト云フ者ノ意見ハ問フコトヲ要セヌト云フノデゴザイマスガ、富豪若クハ資本家ノ意見ニサヘ從ヘバ宜イト御考ニナッタデアアルカ、之ヲ伺ヒマス

○政府委員(岡實君) 政府ハ勞働者ノ意見ヲ問ハナイト云フコトナイデアリマスガ、御承知ノ如ク、此議會ノ協贊ヲ經テ工場調査費ナルモノガアツテ、其費用ニ依リテ政府ハ裏面カラ及表面カラ、勞働者ノ意見ヲ多ク聞テ居ルノデゴザイマス、其間テ居ル記事ハ豫テ御覽ニナッタコトガアラウト存ジマス、又生産調査會ニ於テモ、勞働者ノ利益ヲ代表シテ居ル人ニ付テハ特ニ詳細ニ其意見ヲ徵シテ、生産調査會ノ審査モ亦勞働者ノ意見モ斟酌シテ居ルモノト御承知ヲ願ヒタイ

○法學博士花井卓藏君 唯今ノ點ニ付テ重ネテ御尋ラシテ置キタイ——確メテ置キタイ、勞働者ハ此法案ニ満足致シテ居ルノデスカ、既ニ意見ヲ御徵シニナッタナラバ、意見ヲ御採用ニナッテ居ル點モアラウト思フガ、多ク此立法ニ満足スルガ如キ勞働者ノ意見デアッタラウカ

○政府委員(岡實君) 勞働者ノ意見甚ダ一ナラズデアリマス、何トナレバ此就業時間ノ制限ト云フモノハ、或意味カラ言ヘバ勞働者ヲ保護ラスルノデアリマスガ、一方ニ於テ勞働者自身モ亦苦痛ヲ感ズル場合モアルデアリマス、ソレハドウ云フ場合カト云フト現在ノ賃金支拂ノ法則ハ、時間拂ヨリモ寧ロ出來高拂ト云ツタ方ノ側ガ多イデアリマスカラ、勞働者ニ依テハ就業時間ノ制限ノ如キハ甚ダ喜バナイト云フヤウナ場合ガ多イデア

ス、故ニ彼等ノ心事カラ言ハバ贊成シテ居ルケレドモ、現在ノ自分ノ收入ノ點カラ是ハ困
ルト云ツタヤウナ場合モ少ナカラズト思ヒマス、結局労働者ノ意見一ナラズト御承知ヲ願
ヒタイ

○法學博士花井卓藏君 更ニ伺ヒタイ點ハ頗ル重大ナル問題デアリマス、御承知ノ如
ク思ムベキ大逆事件ハ労働者ヨリ起ツタデアリマス、而カモ政府直轄ノ工場ニ從事スル
トコロノ職工ヨリ起リタル思ムベキ事件デアリマス、私ハ此事件ニ關係シテ痛切ニ感シマシ
タ點ハ、労働者ニ對スルコロノ教育智識、ソレノ不完全ナルコトハ、直チニ以テ思ムベキ
而シテ惡ムベキ風紀ニ感染シ易キモノト見テ居ルデアリマス、相當ノ教育ヲ受ケテ、國史
ノ大體ヲ通ズルガ如キコトガゴザイマシタナラバ、斯ノ如キ行動ヲ爲スベキ筈デナイ、危
險ナル思想ヲ注入致シテ來マシテモ、之ニ感染スベキ謂レガナイ、然ルニ彼等ノ無教育
ナル無智識ナル、耳ニ聞クダケノコトデアッテ、之ヲ鑑別スルノ能力ト云フモノハ、教育
ヨリ得タル素養ナキノ故ヲ以テ爲スコトガ出來ナイ、智識ニ訴ヘテ鑑定スルダケノ能力ノ
ナイト云フコトハ、實ニ憂フベキ事件ヲ産ム原因トナツタデアラウト私ハ考ヘル、一件記ヲ
録玩味スレバ確カニ之ヲ知ルコトガ出來ル、宮下太吉ガ森近運平ニ問フテ森下運平ガ
宮下太吉ニ答タル事實、而シテ宮下太吉ハ之ヲ鑑別スルノ智識能力ガナイト云フ事柄
ガ、斯カル危險思想ニ養ハレル原因ヲ爲シテ居ルト云フコトハ、當局大臣ハ此點ニ於テハ
審カニ御承知デアラウト思フ、職工教育ノ上カラ忽ニスベカラザルコトハ、此前古未會有
一大事件ニ依ッテ證據立テラレテ居ルデアアル、労働者ヲ保護スルコト云フコトハ、生理的
ニノミ保護スルコト云フ趣旨ガ保護ノ精神デハナイ、生理的ニモ之ヲ保護シ、又教育的ニ
モ之ヲ保護スルコト云フコトガ當然デアラウト思フ、而シテ進シテハ更ニ精神的ニモ之ヲ保
護シナケレバナラヌデアラウト思フデアリマス、本案ヲ見ルニ、時間ノ制限ニ於テ、業務ノ
制限ニ於テ、種々ナル生理的ノ保護ガ一方ニ於テ行居イテ居ルカノ如ク見ユル點モアル、
併ナガラ教育ノ如キモノニ重ヲ措カナイ、十二歳未満ノ者ハ勿論ノコト、二十歳未満ノ
者ニ至リテハ強制教育ノ責任ナシト雖モ、普通ノ智識ヲ授ケ、又工業上ノ智識ヲ授ケ、
而シテ彼等ヲ教育的ニ精神的ニ良職工良國民トシテ養フベキトコロノ責務ト云フモノ
ハ、工場主ニ課シテ然ルベキコトデアラウト私ハ思フデアリマス、諸國ノ法制ハ一々調ベ
ハ致シマセヌガ、御配付ニナツタモノ、英吉利ノ條例、竝ニ獨逸ノ法律ニ依テ見マシテ
云フト、未成年者殊ニ徒弟ニ對シテノ普通教育工業教育ヲ授ケルトコロノ規定ト云フ
モノハ、餘程完全ニ出來上ッテ居ルヤウニ見ユル如クニテ普通教育ヲ授ケ、而シテ別
ニ工業教育ヲ授ケ、良國民タリ良職工タリスルト、一面ニ於テハ良國民タリ、一面ニ於
テハ良職工タルノ素養ヲ爲サントテ努力メテ居ル、事極メテ純善純美テ、至レリ盡セリテ
アル、然ルニ本法ノ一言モ是ニ及バザルハ、果シテ如何ナル理由デアリマスルカ、職工徒弟ニ
ハ智識的精神的ニハ何等教育ヲ施サズシテ可ナルモノデアルカ、斯ノ如キモノガ智識能
力無キガ故ヲ以テ、危險ナル思想ニ感染スルコト云フヤウナコトガアッテモ、現ニ其事實ガ目
前ニ現ハレタルニモ拘ラズ、斯ウ云フ政府ノ方針ナリヤ否ヤト云フ點ニ付テ、私ハ大臣ノ
説明ヲ求メテ置キタイデアリマス、尙質問ノ趣意ヲ強メタルメニ、斯ウ云フコトヲ申上
テ置キマス、日本ニハ監獄法ト云フモノガアリマシテ、即チ犯罪ニ關スル保護ノ規定
ト云フモノヲ締密ニ立テ、居リマス、即チ未成年者デアリシナラバ、未成年ノ犯罪人デア

リシナラバ、殆ド半日ヲ教育ニ費シ、殘リノ半日ヲ作業ニ費サシムルト云フコトニ致シテ
居リマス、罪人デサヘモ教育ヲ怠ラザルコト、未成年者ニ對シテ教育ノ責任ヲ國家ガ負
ウト云フ旨ヲ立派ニ體シテ居ル、未成年者ノ職工徒弟ト云フモノハ、罪人デハナイノデア
ル、國家ハ罪人ニ對シテモ教育ノ保護責任ヲ負ウテ居ルニモ拘ラズ、此職工徒弟ニ對シ
テハ之ヲ強テ避ケル、工場主ニ此責ヲ課セシメヌト云フ根本ノ理由ヲ承リタイ、是ハ各國
ノ立法例ニアルコトデアリマスカラ、立法例ニアッテ然モ大切ナルコトデアアル、是レ……
○委員長(大岡育造君) モウ宜クハアリマセヌカ

○法學博士花井卓藏君 モウ少シ……前申上ケル通り、本法ハ労働者本位ニ非ラズ
シテ工場主本位デハナイカト云フ本員ノ第一問ヨリ流レ來ル是ガ各論ノ一デアッテ、然
モ是ガ唯一ノ第一番ノ大切ナル點デアアル

○農商務大臣(男爵大浦兼武君) 唯今花井君ノ御尋ハ餘程大ナル關係ニシテ、且
ツ大ナル御考ヲ以テノ御質問ノヤウニ伺ヒマスガ、御承知ノ通り我國ノ労働者ニ對シテ
又工業上ニ對スルコトハ、漸ク今茲ニ始メテ工場法案ト云フモノ、大體ヲ定メルトコロノ
發端デアッテ、詳シク之ヲ論ジタナラバ、甚ダ不十分ナトコロモアリマセウ、此教育ノコトニ
付テハ、敢テ此法律ノ中ニ入レルマデノ程度デナクテ、教育ハ教育ノ方ノ制度ガアッテ、其
方デ國民教育ト云フモノハヤッテ行カナクテハナラヌカラ、先ヅ以テ御覽ノ通りノ今度ハ法
律ヲ以テヤッテ見ヤウ、サウシテ漸次我國ノ發展ニ從ッテ、今ノ御意見ノヤウナコトハ勿論
攻究致サナクテハナラヌコト、考ヘテ居リマス、其邊御了解ヲ願ヒマス

○委員長(大岡育造君) 何か言明ヲ取ルヤウナコトハアリマセヌカ

○小川平吉君 私ハ議論デヤナイ、本統ノ辯明ヲ求メテ置クノデスガ、先ヅ第七條デア
リマス、一回休日ト云フモノニ付テチヨット疑ハシク思フ點ガアリマスカラ、伺ッテ置キマス、
是ハ必ず一定ノ日ニ、全部ノ職工ヲ休メセナクテモ、一ヶ月ニ一回程日ヲ定メテ休マセ
レバ、休日ニ休マセナクテモ宜シイト云フ御趣旨デアリマスカ、如何デスカ

○政府委員(岡實君) 御意見ノ通りデアリマス

○小川平吉君 ソレカラ第十四條デアリマス、十四條ニ當該官吏ハ工場又ハ其ノ附
屬建設物ニ臨檢スルコトヲ得ト云フコトガアリマスガ、是ガ工場ニ於テハヤタラニ臨檢ヲ
セラレマス、隨分業務上迷惑ヲ感ズル場合モ少クナイノデアリマス、又業務ノ種類ニ
依リマシテハ、業務上ノ秘密ニ屬スル事項ヲ、此臨檢ト云フコトニ名ヲ籍リテ濫リニ其
秘密ヲ見出サレト云フ風ナラヌガアルデアリマス、此點ニ付キマシテハドウニ云フ風ニ政
府ニ於テハナサレノデアリマセウカ、當業者ノ迷惑ヲ感ゼナイヤウナ方法ニセラル、御考
デアアルカドウカ、此點ニ付テ御辯明ヲ得テ置キタイ

○政府委員(岡實君) 工場ニ監督官ガ臨檢スルニ付テハ、執務規則ト云フ嚴重ナル
規則ヲ設ケマシテ、濫リニ工場ノ秘密ヲ搜索シタリ、或ハ漏洩スルト云フヤウナコトナカラ
シムルヤウニスル積リデアリマス、若シ右執務規則ニ違背シタ者ヲ生ジタトキニハ、官紀ニ
依テ相當ノ制裁ヲ附スルト云フコトニ御承知ヲ願ヒタイ

○小川平吉君 モウ一ツ第十五條ニ付テ伺ヒタイ、第十五條ニ「業務上負傷シ疾病
ニ罹リ又ハ死亡シタルトキ」トアリマスガ業務上負傷シマデハ分リマスガ、其次ノ疾病ニ
罹リ又ハ死亡シタルトキト云フノハ、ヤハリ前ノ重大ナル過失ニ依ラズシテ、業務上ト云フ

字ガ掛ルノデアリマセウカ、此點ヲ……

○政府委員(岡實君) 御意見ノ通りデス

○小川平吉君 質問ハソレニテ宜シウゴザイマス

○委員長(大岡育造君) 質問ハ是ニテ了ツタモノト認メテ御異議ハアリマセウカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○委員長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ質問終結ヲ宣告致シマス、直チニ本案ノ討論ニ移リマス

○小寺謙吉君 本案ハ大體ニ於テ贊成ヲシタイ、贊成ヲシタイノデアリマスルガ、贊成

スルニ付テ本員ノ立場ヲ明カニシテ置キタイ、此工場法ト云フモノハ、本回御提出ニナッ

テ居ルノハ甚ダ不完全デ、其理由由書ニ説明シテアリマストコロト、大臣ノ本會ニ於テ御

説明ニナツタコロトハ、甚ダ相違ガアルヤウニ思フ、大臣ハ此労働者ノ方ガ甚ダ急ニ追ッ

テ居ルト云フ意味ヲ力強ク言ハレタヤウニ記憶シテ居ル、然ルトコロ此工場法ヲ見マスル

ト云ウト、ナカク、大臣ガ急ニ追ッテ居ラレト云フ言ハレタコロトハ甚ダ相違シテ居ッテ、十五

年後ノ夜間作業ノ如キ、就業時間ノ制限等ハ、十五年経タザレバ行ハレヌト、勅令

ノ施行ガ二箇年モ後ニナリマス、十七箇年ノ後ニ行ハレルコトニナル、サウスルト、大臣

ノ甚ダ事急ニ追ッテ居ルト言ハレタコロトハ、十七箇年後ニ追ッテ居ルト云フヤウニ解釋セ

ラル、十七年後ニスルコトヲ事急ニ追ッテ居ルト言ハレルノハ、大臣ノ本會ニ於ケル工

場ノ上ノ發達ヲ完フセントシテ居ルト云フコトニ反シテ居ルト思フ、ソレカラ此工場法ノ大

體ニ於テハ、資本主本位デアアルカ或ハ工場ニ作業ヲ致シテ居リマス労働者ノ本位ノモノ

デアアルカ、ソレハ先ヅ七條ト云フ言ハレタコロトハ九條ト云フ言ハレタコロトハ、労働者保護

ノコトハ甚ダ少ナイ、工場法ト云フ労働保護ヲ目的トスル、又労働者ノ工場ニ働

居ル關係ヲ調和シテ、工業ノ發達ニ資スルモノデアアル、然ラザレバ工場法ハ資本主五

分、労働者五分ノ規定デナケレバナラヌノデアリマス、然ルニサウヤツテ居ラヌト云フコ

トハ、第二條ニ於テ、第四條其他ニ於テモ御承知ノ如ク或意味カラ申シマスルト、

労働者ハ或ハ反對運動ヲスルカモ知ラヌガ、免毛角モ此所十五年或ハ凡十四箇年資

本主ヲ保護シテヤルト云フコトカラ、工場法ガ編出サレテ居ル如ク思ハレル、又資本主ニ

保護ノ力ヲ用井ルコトハ明瞭ニナッテ居ル、或ハ府縣知事ニ諮問シタカ、或ハ商業會

議所ニ諮問シタカ、或ハ高級官吏ト資本主ト其他ヲ集メテ生産調査會ト云フモノヲ

組織シテ居ル、是ナドニ諮問セシメテ、一部ノ階級ノ人ニハ諮問シテ居ル、併ナガラ多

數ノ労働者ニ對シテハ少シモ諮問ト云フコトヲシテ居ラナイ、然ラバ此工場法ト云フモノ

ハ資本主本位デア出来タモノデアッテ、何方カト云フハ將來起ラントスル、現ニ起ラントス

ルトコロノ社會問題ノ解決ニ就テハ政府ハ政本主ニ同情ヲ表シテ、労働者ニハ餘リ多ク

ノ同情ヲ與ヘズ、此所十五年乃至十七年間ハ資本主保護ヲ主トスルモノデアアル、此工

場法ニヨルト、ドウシテモ労働者ノ體力ヲ維持發達シ、或ハ道徳思想ヲ進メテ行キ、彼等

ノ智力ヲ鞭撻スルト云フコトハ、到底是等ノ目的ハ達セラレナイコト思フ、是ガ自分ノ

工場法ニ就テノ見解デアアル、ソレデ此工場法ハ非常ノ修正ヲ加ヘズンバ贊成スルコトガ

出来ナイト云フ場合ニ立至ルノデアリマスガ、今日自分共同志ノモノガイロノ意見ヲ

申シタコロガ、又各箇條ニ就テイロノ修正ヲ出シマシタコロガ、是ガ唯時間ト辯否

ヲ弄スルダケテ、結果ニ於テハ到底修正説ガ多數ヲ以テ決セラル、如クハ思ハヌノデアリ
マスカラ、大體ニ於テ贊成スルコトニ致シマシテ、又各箇條ニ就テ特別ノ修正ハ出シマセ
ヌ、併ナガラ資本主本位ノモノデアッテ、労働者ノ本位ノモノデアリマス、殊ニ此ノ
最も重要ナル夜間禁止作業ノ制限其他ハ十五年後ニ行ハレルノデアリマスカラ、我日
本ノ産業モ、以後十五年モ發達致シマシタトキハ今後十五年ハ餘程今日マデノ數
培ノ力ヲ以テ發達スルノデ、到底十五年間安閑トシテ立法者ノ手ヲ俟ッテ居ル譯デハ
行カナイカラ、吾々同志ガ時ヲ俟ッテナラバ相當ノ改正法律案ヲ其當時ニ出スト云フ考
ヘテ居リマスガ、今回ハ總テサウ云フコトヲ廢メマシテ、此法律ヲ不完全ト雖モ無イヨリハ
宜イノデアリマスカラ大體ニ於テ本案ニ贊成シテ置キマス

○法學博士花井卓藏君 意見ヲ述ベタイ、私モヤハリ本法ヲ迎ヘル論者デアリマス、其
理由ハ名實相違ハズト雖モ、労働者ノ保護ト云フモノヲ法律事項ニセラレタト云フ點ニ
贊成スルノデアリマス、今日ノ如ク行政事項ヲ定メテアル、契約ノ關係ヲ定メテアルモノヲ
立法的ニ労働保護ノ名實相違ハズト雖モ、斯クセラレタト云フコトヲ贊成致スノデアリマ
ス、總體ニ私ガ研究致シマスレバ、立法ノ方法ノ上ニ於テ、立法ノ體裁ノ上ニ於テ、立法
ノ材料ノ上ニ於テモ、法ニ含マレテ居ル内容ノ上ニ於テモ、労働保護ノ目的ノ點等ニ
就キマシテ缺點ガ頗ル多クアルコトヲ認メテ居リマスルガ、免毛角モ法律ニ依リ労働保護
ニ第一ガ極ムルト云フコトダケデ、私ハ今満足ヲシヤウト思フノデアリマス、唯特ニ政府
當局ノスルコトノ不足トシテハ教育ノコトデス、是ハ立法事項ニ基カズシテ、命令事項ニ
於テモ工場法ノ不備ナル點ヲ補ヒ得ラルカラ、研究未ダ熟セズト雖モ、或ハ然ルベシト信
ジテ居リマス、是ハ明治二十一年ノ農工商高等會議ニ於テ立法シタ工場法ノ中ニハ
立派ニアルノデアリマス、其第二十條ノ中ニハ技藝練習ノコト、普通教育ノコトナドハ工
場主ノ責任問題トシテ強制致シテ居ル、斯ノ如キノ規定ハ當局ニ於テ立法事項ト見ラ
レタナラバ、別段法條ヲ出サル、コトナク、行政事項トシテ融通ガ付クト云フ考デ、本法
施行ノ當時ニ其道ヲ付ケラレト云フコトダケテ私ハ切ニ望ンテ置キマス、ソレカラ政府
委員ノ言葉中ニ既得權利、既得ノ利益ナドト云フ新發明ノ言葉ヲ承ハリマスケレドモ、
是ハ現在ノ法ヲ立法スルノデアリマスカラ、其法ニ既得ノ權利モ既得ノ利益モアル筈ハナ
イ、是ハ能ク出ル論デアアルガ、ドウモ犯罪ヲシテモ、舊刑法時代デアアルカラ舊刑法ヲ罰セ
ラレト思ッテ犯罪ヲシタト云フヤウナコトヲ言フガ、法ハ國家ガ必要上立法ヲナスノデア
カラ、既得ノ權利、既得ノ利益ト云フヤウナコトヲ言フベキデナイ、斯ノ如キ用語ノ不健
全ナルコトモ、此處ニ序ニ申シテ置キマス

○古賀庸藏君 本員等モ亦大體ニ於テ本案ヲ贊成スルモノデアリマス、然ルニ既ニ大
體ハ意見モゴザイマシタガ、是ヨリ逐條ニ涉ッテ修正意見モアリマスカラ、ソレヲ述ベテ差
支アリマセウカ

○委員長(大岡育造君) 宜シウゴザイマス

○古賀庸藏君 第一條ノ第一「常時十八」下アルヲ「二十」ト修正致シマス、其理
由ハ詳シク申シマセウカ、要スルニ此案ノ大體ハ工場法ノ目的ヲ達スルハ十五年ノ後デ、

今ハ準備或ハ試ミノ時代デアリマス故ニ、十八位ノ工場即チ一家族ガ五人居レバ他ニ

五人ノ職工若クハ徒弟ガ入レバ十八トナル、サウ云フモノマデモ斯ル法ノ制裁ヲ受ケルノ

支アリマセウカ

○委員長(大岡育造君) 宜シウゴザイマス

○古賀庸藏君 第一條ノ第一「常時十八」下アルヲ「二十」ト修正致シマス、其理
由ハ詳シク申シマセウカ、要スルニ此案ノ大體ハ工場法ノ目的ヲ達スルハ十五年ノ後デ、

今ハ準備或ハ試ミノ時代デアリマス故ニ、十八位ノ工場即チ一家族ガ五人居レバ他ニ

五人ノ職工若クハ徒弟ガ入レバ十八トナル、サウ云フモノマデモ斯ル法ノ制裁ヲ受ケルノ

支アリマセウカ

ハ、比較的苦シイ次第アリマスカラ、之ヲ二十八ト致シタイノデアリマス
○農商務大臣(男爵大浦兼武君) 此場合一言申上ケテ置キマス、唯今第一條ノ「十八」ヲ「二十」トスルコト云フ御意見ニ對シテ已ムラ得ズ反對ノ意見ヲ述ベタイト思ヒマス、抑、此工場法ノ大體ニ於キマシテハ、諸君ノ御認メニナツテ居ルヤウニ思ヒマシテ、甚ダ満足ニ存ジマス、然ルニ、十八ヲ「二十」トスル論ニナリマス、誠ニ遺憾ナル點ハ、多ク十八以下ノ工場ハ御承知ノ通り殆ド家庭工場ニ准ズベキモノデアッテ此法律ヲ除クト云フコトハソレモ宜カラウト考ヘタトコロ、之ヲ二十八トスルト、十八以上、二十以下ノ處ガ弊害ノ最モ多イトコロデ、其數ハ十八以上トスルト、其工場ノ數ハ一万五千四百有餘ゴザイマス、ソコデ若シテ「二十」トスレバ、工場ノ數ハ半分減ズル、此法律ノ取締ノ範圍外ニナル七千二百二十有餘ガ減ジテ來ル、斯ウナルデアリマス、サウスルト此工場中ニハ或ハ織物ガ最モ多數デ、十八二十ノ處ガ最モ多イ、ソレガ多數ヲ占メテ居リマスカラ、織物工場ハ先キニ申ス通り先ヅ此處待ラスルトカ、イロ／＼弊害ガアルカラドウシテモ十八二十ト云フ處ノ邊ヲ最モ注意シナクテハナルマイト考ヘマス、ソコデ願クハ十八ト云フ原案ノ方ニ御決定ヲ願ヒマス、サウスルト偶、此處ニ拵ヘルトロノ工場法ノ目的ハ殆ド半分潰レル勘定ニナリマスカラ、十分ニドウカ御研究ヲ願ヒマス

○田邊熊一君 古賀君ニ贊成致シマス
○委員長(大岡育造君) 第一條ニ付テ古賀君ノ修正ニ同意ノ御方ハ舉手ヲ願ヒマス

○委員長(大岡育造君) 多數、第二條、第三條、第四條、第五條、第六條、第七條
○小川平吉君 第七條ノ中「一週間」トアルヲ「十日」ト修正ヲ致シタイノデアリマス

○委員長(大岡育造君) 多數、第八條
○小川平吉君 第八條第三項ノ次ニ第四項トシテ、新規ナ規定ヲ設ケタイト思ヒマス

「季節ニ依リ繁忙ナル事業ニ付テハ工業主ハ一定ノ期間ニ付豫メ行政官廳ノ認可ヲ受ケ其ノ期間中一年ニ付百二十日ノ割合ヲ超エサル限リ就業時間ヲ一時間以内延長スルヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ認可ヲ受ケタル期間内ハ前項ノ規定ヲ適用セス」是ハ特殊ノ工業ニ付テ一定ノ期間ハ時間ノ延長スルコトガ出來ルヤウニシタイノデアリマス

(贊成)ト呼フ者アリ
○委員長(大岡育造君) 小川君ノ修正動議ニ贊成ガアリマスガ其修正文ハ今朝讀ニナツタ通りデアリマス、御贊成ノ方ハ舉手ヲ願ヒマス

○委員長(大岡育造君) 多數、第九條、第十條、第十一條、第十二條、第十三條、第十四條、第十五條、第十六條
○小川平吉君 第十六條ノ「職工」トアルヲ「職工徒弟」ト改メテ「徒弟」ト云フコトヲ此中ニ加ヘルコトニ修正シタイ

(贊成)ト呼フ者アリ

○委員長(大岡育造君) 別ニ御異議モナイヤウデスカラ、其通り決シマス、第十八條ノ權限ヲ有スル工場管理人ヲ選任スルコトヲ得、工業主本法施行區域内ニ居住セザルトキハ工場管理人ヲ選任スルコトヲ要ス工場管理人ノ選任ハ行政官廳ノ認可ヲ受クヘシ但シ法人ノ理事會社ノ業務ヲ執行スル社員ヲ代表スル社員取締役業務擔當社員其他法令ノ規定ニ依リ法人ヲ代表スル者及支配人ノ中ヨリ選任スル場合ハ此限ニアラス」是ハ別ニ説明スル必要ハナイト思ヒマス

○政府委員(押川則吉君) 此修正ニ付テハ御再考ヲ願ヒタイト思フ、此原案ハ他ノ法律ノ關係上其權衡ヲ考ヘテ原案ノ通り規定シタノデアリマスカラ、原案ノ方ニ御据置キヲ希望致シマス

○岡田泰藏君 是ハ私ハ修正ノ必要ガアラウト思フカラ贊成致シマス、工場主ト工業管理人トハ同様ニ事實ノ上ニ於テ責任ヲ持ツテ參ラナケレバナラヌコトニナル、ソレデ此刑ニ關係スルコトノ如キ、ヤハリ工業管理人が其責ヲ負フト云フコトガ當然ノコトデ、是ハ修正スルガ誠ニ至當ノコトト思ヒマス

○委員長(大岡育造君) 修正ニ反對ノ諸君モアリマスカ
○法學博士花井卓藏君 アリマス

○委員長(大岡育造君) 十九條、二十條、二十一條
○小川平吉君 二十一條ノ中「答辯ヲナサス又ハ虛偽ノ陳述ヲ爲シタル者」トアルヲ「答辯ヲ爲サ、ル者」ト改メタイノデアリマス

○法學博士花井卓藏君 私立論ガアルト云ヘバアル、ナイト云ヘバナイガ、餘程是ハ考物デアラウト思フ、私ハ此種ノ立法例ガ百位モアラウト思フ、一々當ラ得ザルモノアリト信ジテ居マスケレドモ、明治二十三年以來帝國議會ガ協贊ヲナシタル分デモ、隨分澤山アル、之ニ勅令ニ讓ルモノヲ集メテ見ルト、百以上モアルト思フ、之ニ影響ヲ及ボス問題デアル、誰デモ今日マデ能クナイコトデアルト思ウテ居ルニモ拘ラズ、帝國議會ハ幾ツモ協贊ヲ與ヘテ居ル數モ其他澤山アリマス、之ヲ一々變ヘルニ政友會ノ調査ガ行届クモノデアルナレバ、至極安心ダガ、所謂金持保護ノヤウナ此分ダケ修正シテ、其他一般ノモノヲ殘スノモ甚ダ跛ダカラ總テノ法律ヲ統一シテ、此關係ヲ同ジクシテ置ク方ガ便宜デアリマスカラ、本案ハ傷ノ儘存シタイト云フ私ノ意見デアリマス

○小川平吉君 花井君ノ如キ法律家ガ反對セラル、ハ甚ダ遺憾デアル、又同君ノタメニ惜ム、殊ニ是ハ金持ニ對スル保護ノ法デハナイ、雇人ニモ適用スルカラ此點ハ私ガ辯解シテ置キマス、雇人ニ對シテモ虛偽ノ陳述ヲ罰スルノデ……

○委員長(大岡育造君) 決ヲ採リマス、二十一條ニ付テ修正ニ贊成ノ方ハ舉手ヲ希望シマス

○委員長(大岡育造君) 多數
○小川平吉君 二十一條ヲ左ノ通り修正シタイ、第一項及第二項中「工業主」トアル

○委員長(大岡育造君) 多數、第二十二條

○小川平吉君 第二十二條ヲ左ノ通り修正シタイ、第一項及第二項中「工業主」トアル

ヲ「工業主又ハ第十九條ニ依リ工業主ニ代ル者」ニ改ム、第一項「免ルルヲ得ス」ノ下ニ「但シ工場ノ管理ニ付相當ノ注意ヲナシタルトキハ此限ニアラス」斯ウ云フコトヲ加ヘタ
イノデアリマス

○法學博士花井卓藏君 採決ハ二ツニ分ケテ貫ハナケレハナリマセヌ、私ハ小川君ノ修正ノ始メニハ贊成ヲシテ、其以下ハ反對デス、理由ハ別ニ申シマセヌ、多クノ立法例ガ二十一條ト同ジク數限リモナク傷ヲ殘スト云フ趣意デアリマス

○委員長(大岡育造君) 決ノ採方ハ注意致シマセウ、第二十二條中ノ「工業主」トアルハ「工業主又ハ第十九條ニ依リ工業主ニ代ルモノ」ト云フノハ御異議ノナイモノト認メマス、其次ニ但書ヲ加ヘルコトニ付テ贊成ノ方ハ舉手ヲ希望シマス

舉手者 多數
○委員長(大岡育造君) 多數——二十三條、二十四條、二十五條、附則

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)
○委員長(大岡育造君) ソレテハ工場法案ノ委員會ハ本日ヲ以テ終了シタルコトヲ宣告シマス

午後三時三十九分散會